

令和5年度第2回岩国医療圏地域医療構想調整会議 議事概要
(令和5年度第1回岩国地域保健医療対策協議会)

【日 時】 令和5年11月2日(木) 15:30~17:00

【場 所】 山口県岩国総合庁舎 1階入札会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
- 地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、検証を踏まえて行う必要な対応等について合意した。

1 第8次山口県保健医療計画素案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
(主な意見・質問等)

- 山口県保健医療計画について、現行の第7次計画期間においては、がん治療で内視鏡手術やロボット支援手術の導入が進むなど、5疾病の治療が非常に進歩したため、後遺症の軽減や在院期間の短縮につながっている。次期第8次計画期間中においても、在宅医療が進むなど、医療を取り巻く状況は相当変化すると考えられる。
- 山口県感染症予防計画の改定及び医療機関等の協定締結について、医療措置協定締結は、医療機関に制約を課すものではないのか。
⇒ 制約を課すものではなく、どのような病態の感染症がまん延するか分からない中で、新型コロナ対応を踏まえ有事の際の体制整備を図っていくもので、病態等に合わせて柔軟に対応することを念頭に協定締結していただきたい。

2 令和4年度病床機能報告結果について

3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、令和4年度病床機能報告結果について説明を行った。
また、令和5年度第1回調整会議で協議・合意した圏域全体の医療提供体制や各医療機関の役割分担の方向性等を踏まえ、地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、非稼働病棟を持つ医療機関の今後の見通しや、圏域の課題を解決するための年度ごとの工程表の策定等について協議し、合意した。

(主な意見・質問等)

- 地域医療構想の進捗状況について、これまでの調整会議の協議状況を踏まえても、必要病床数に対して回復期病床が不足する傾向に変化はなく、机上の空論となっていないか。
 - ⇒ 必要病床数はあくまでも参考とする指標であり、機械的に削減して近づけるものではない。この調整会議の場において課題について協議し、地域で合意いただければ、必要病床数と乖離があっても問題ないと考えている。
- 当圏域に限らず県全体で医師の高齢化・後継者不足が顕著であり、不足する回復期病床へ移行するためには、担い手となる若手医師の確保など県のサポートも必要ではないか。
 - ⇒ 若手医師の確保に向けて、自治医科大学卒業医師の公的医療機関等への配置や修学資金の貸与等による取組を進めているが、配置可能な医師の数も限られており、引き続き、効果的な支援の方法について、地域の実情等を踏まえて考えていきたい。